

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	脳卒中後認知症 (poststroke dementia) の画像所見についての検討
研究責任者 (所属科名)	大下智彦 (脳神経内科)
本研究の目的・意義	脳卒中を契機に発症する脳卒中後認知症のうち、大梗塞でなく発症するものの画像を含めた臨床的特徴を明らかにします。
調査方法・調査期間	015年1月～2016年12月の情報を対象とします。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2015年1月～2016年12月までに安佐市民病院脳神経内科に入院した急性期脳梗塞患者のうち、発症前は認知症を有さず、脳卒中後に脳血管性認知症と診断された方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	広島大学脳神経内科
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211 担当者: 大下智彦 (広島市立安佐市民病院脳神経内科 部長)
備考	

記載例 （黒字は記載例です。赤字が注意事項となります）

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	再発胃癌患者における日常診療上った血液データの経時的変化を多施設で比較する後ろ向き研究 (プロトコールに記載されている試験名をお願いします)
研究責任者 (所属科名)	安佐 太郎 (外科) (当院での研究責任者(代表者)名をお願いします)
本研究の目的・意義	日常診療で採血した血液データをカルテより集積し経時的な変化を多施設のデータと比較し、地域差がないかどうか検証する。 何が原因で地域差が生じるのか検討し、予防医学へつなげる。 (プロトコールに記載されている目的・意義をご記載ください。長文となる場合は要点のみでかまいません。)
調査方法・調査期間	2016年5月～2017年2月までの情報を調査対象とします。 (データを集積する期間、又は試験の期間を記載ください)
該当資料・データ	★対象となる患者様 2016年5月～2017年5月までに安佐市民病院外科にて血液検査を実施された方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 (対象となる患者さん、具体的に利用する試料をお書きください)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 (プロトコールに個人情報の取り扱いポリシーが記載されていれば、そちらを御記入ください)
共同研究機関	なし (共同研究機関があればすべてお書きください)
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

<p>(利益相反)</p>	<p>(もし、スポンサーがいらっしゃったら全てお書きください。また、どのような援助もお書きください。) 具体例：安佐製薬株式会社(モニタリング業務の補助) 安佐薬品工業(研究資金)</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：082-〇〇×-▽■◎▲ 担当者：市民 次郎(外科：副部長) (メイン担当される方がよいと思います)</p>
<p>備考</p>	<p>上記に項目がないもので、オプトアウトしたほうがよいものはこちらに記載をお願いします。</p>